



今年もあとわずかとなりましたね。1年が経つのはあっという間です。当センターも、年末に向けて、慌ただしい日々が続いてあります。それでは、11月と12月の活動について、ほんの一部ですが、ご覧ください！

特定行為研修

急性期医療コース4期生 区分別科目研修 スクーリング(2025.11.13～5日間)

編入生を加えた6名が、区分別科目研修を受講しました。全員OSCEに合格し、臨地実習に進んでいます。スムーズにいけば、3月に修了予定です。



中心静脈カテーテルの抜去

直接動脈穿刺法による採血

動脈ラインの確保

急性期医療コース5期生 募集中(2025.12.15～24)

修了できる区分は、「中心静脈カテーテルの抜去」と「直接動脈穿刺法による採血・動脈ラインの確保」です。特定行為研修を受講し、アセスメントの向上やスキルアップを目指しませんか？興味のある方は、当センターのHPに掲載している募集要項をご覧ください。



附属病院認定・専門看護師による受入れ研修

「感染管理ベーシック」6名、「がん薬物療法看護」5名、「がん緩和ケア」10名、「状態変化時の初期対応」16名の参加がありました。地域の病院から、幅広い経験年数の参加者が、日頃の疑問解決や実践力の向上に向けて、熱心に取り組んでいる姿が印象的でした。



状態変化時の初期対応



感染管理ベーシック



がん緩和ケア



がん薬物療法

第1回 キャリア支援座談会

今回の座談会では、「実習指導の経験を語る会」をテーマに、実習指導を経験した先輩看護師と、実習指導者研修を企画している看護師長をスピーカーとしてお招きし、また、保健看護学部の教員の方々にも参加していただきました。それぞれの立場から、学生指導について語り合うことで、普段の疑問を解決するだけでなく、学生指導の魅力を改めて感じることができ、良い機会となりました。

ゲストスピーカー



参加者の皆さん



オンライン研修

「ストーマケア：トラブル対応方法」89名、「創傷に合わせた軟膏の選び方」108名、「地域包括ケアについて～入退院支援の基礎知識～」113名、「終末期の意思決定支援」112名のお申し込みがありました。12月から2ヶ月間の予定で、配信をスタートしています。



潜在看護師復職支援

復職を考えている方が希望された、採血・血管確保の手技トレーニングをしました。このプログラムは、最近の医療・看護に関する知識確認のための講義動画も、併せて視聴します。今回の参加者は、復職に向けて自信がついたと笑顔で話してくれました。



保健看護学部生のジョブシャドウイング

1月から2月の2日間で、看護師長、リーダー、PNSペアに密着同行し、どのような仕事をしているか、現場のリアルを体験する企画です。ご協力宜しくお願いします。今年度は、なんと29名の募集がありました。附属病院への就職を考えている学生さんが多いようです。



看護師長さんやリーダーさんはどんなことを考えているの？



PNSのペアではどんなやり取りをしているの？

次号では引き続き、受け入れ研修、保健看護学部生のジョブシャドウイング、第2回キャリア支援座談会などについてお知らせします。今年最後のセンター通信をご覧いただきありがとうございました。来年も宜しくお願いいたします。良いお年をお過ごしください。

